

（２）石狩市空き家対策外観調査

石狩市では、平成 26 年度と平成 27 年度に、市内全域を対象として、職員による「石狩市空き家対策外観調査」を実施しました。

花川地区では空き家が減少していますが、その他の地区は増加傾向にあり、全体で 1 年間に 66 件増加しています。

表 1：地区ごとの空き家数

地区名	空き家数（住宅）（件）		増減数（件）
	平成 27 年 1 月 1 日現在	平成 28 年 1 月 1 日現在	
生振地区	28	28	0
新港地区	2	4	2
樽川地区	3	8	5
若生・八幡地区	29	48	19
緑が原地区	11	20	9
花川（条丁なし）地区	0	0	0
花川東地区	5	4	▲ 1
花川北地区	97	78	▲19
花川南地区	123	119	▲ 4
花畔地区	14	14	0
緑苑台地区	4	4	0
本町・船場・親船地区、他	43	71	28
志美地区	0	1	1
北生振地区	4	4	0
美登位地区	0	0	0
厚田地区	45	46	1
浜益地区	149	174	25
合 計	557	623	66

（３）空き家に関する意向調査

空き家になった要因や管理の状況、今後の活用についての調査を行うことにより、空き家に関する情報提供制度や、空き家の活用や修繕、解体に関する支援制度などの施策の必要性等を検討することを目的として、空家等の所有者等に対して「空き家に関する意向調査」を行いました。

①調査の対象者

「平成 27 年度石狩市空き家対策外観調査」において、把握した空き家 623 件を対象に実施

②所有者の確認方法

固定資産課税情報、住民票情報、戸籍情報を活用して所有者等を特定